

看護部ミーティングにおける情報管理の活用 ～チーム医療の推進に向けて～

武田 恵子

静岡赤十字病院 看護部

要旨：チーム医療とは「医療に従事する多種多様なスタッフが、各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し業務を分担しつつも互いに連携・補完しあい、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と定義され、多職種が連携する医療現場においては、チーム医療の推進を図ることは重要な課題である。

「看護部ミーティング」における情報管理は、多職種との連携・協働において活用され、チームワークの向上を図り、効果的な情報交換の場になりうる。

Key words：チーム医療、情報管理

I. はじめに

平成25年1月から、情報管理の一環として、情報伝達・共有、円滑なコミュニケーション、連帯感を培う事を目的に「看護部ミーティング」を開始し継続している。

平成25年10月の調査では、看護部内の情報共有および円滑なコミュニケーションの手段として有用であるという結果と共に、情報の13%は他部署からの情報提供であることが明らかになった。そこで他部署との連携・協働等のチーム医療の推進に繋がる「看護部ミーティング」における情報管理の活用について検討したので報告する。

II. 実践方法

1. 調査期間：平成26年1月～3月
2. 調査方法：
 - 1) 看護部ミーティング記録をもとに3ヶ月間に情報交換・情報共有された情報の内容調査(58日間)
 - 2) 他部署の課長・係長62名を対象に看護部ミーティングについてアンケート調査を実施(回収率66%)
3. 倫理的配慮：

アンケート用紙に個人が特定されることはない

ことを文書で説明し、アンケートの回答をもって参加の意思確認とすることを明記し、同意とした。

III. 実践結果

「看護部ミーティング」で発信された情報総数は58日間で300件あり、病床管理に関する情報が87件(29%)、それ以外の情報数は213件(71%)で、そのうち他部門からは19件(6%)であった(図1, 2)。

情報の発信部署は医療安全推進室・臨床工学課・企画課・総務課等が医療安全情報や感染情報、診療報酬や患者満足度・職員満足度調査、院内保育について等タイムリーな情報が発信された。ま

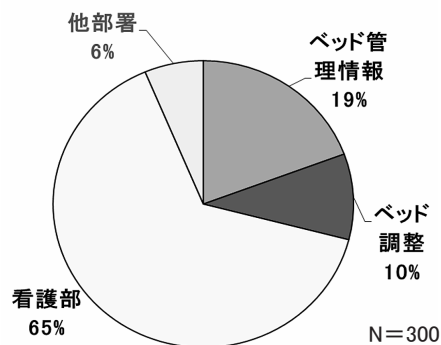


図1 看護部ミーティング情報提供総数

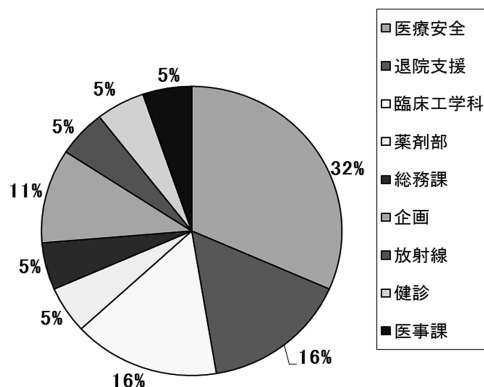


図2 看護部以外の部署からの情報発信

た、他部署の課長・係長等62名に実施したアンケートには41名が回答し（回収率66%）そのうち11名（27%）が看護部ミーティングを知っており、7名が実際に情報を提供していた。この7名は看護部からの情報で看護部ミーティングを知り、その場を活用していた。実際に活用した結果では「迅速に伝達できた」「情報の徹底ができた」「反応が確認できた」「意見を聞くことができた」と述べている。

現在、看護部ミーティングを活用している7名と看護部ミーティングを知らなかった30名（73%）の計37名のうち、半数以上の26名が実践状況を知りたい・機会があれば活用したと述べており、高い関心度が伺われる。

IV. 考 察

病院の中にはそれぞれ高い専門性を持った多職種がおり、「患者にとって一番良いサービスを提供する」ためにはチームが連携・協働するチーム医療が重要となる。チーム医療とは「医療に従事する多種多様なスタッフが、各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し業務を分担しつつも互いに連携・補完しあい、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」と定義され、チーム医療の推進においては、チームワークの向上が重要な要素であると考えられる。

チーム医療におけるチームワークの向上に必要な要因とし野中¹⁾は、相手とのコミュニケーションが取れることをあげており、「看護部ミーティ

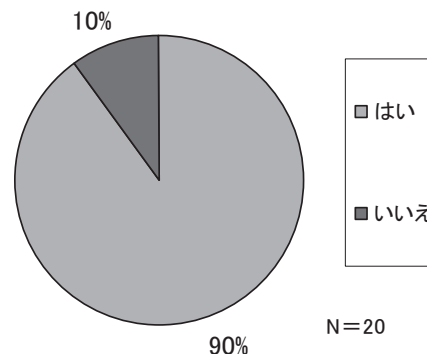


図3 看護部ミーティングの目的は達したか

ング」においては顔の見える関係作りが重要であると考えられる。情報の伝達方法にはイントラネットを活用したメディアによる方法が主流であり、迅速かつ明確に情報は発信されているが、直接顔と顔を合わせて情報を共有することは、反応を確認し、わからない事はその場で問題解決が図れることができる等の利点がある。平成25年10月に実施した看護師長へのアンケートにおいても「看護部における情報伝達・共有、円滑なコミュニケーション、連帯感を培うという目的が達成できたかの問いに対して90%が「達成した」と回答し（図3）、毎日顔を合わせるface to faceの重要性を再認識したと述べている。

V. 結 語

「看護部ミーティング」における情報管理は、多職種との連携・協働において活用されている。今後も「顔の見える関係」の効果を活かし、看護部内だけでなく、多職種のスタッフとのチームワークを向上させ、チーム医療の推進に繋げていくことが期待できると考える。

文 献

- 1) 野中猛. 連携は技術である. 第10回チームワークを実現する. リハビリナース2013; 6: 389-92.

Promoting Team Medical Care through Information Management in Nursing Department Meetings

Keiko Takeda

Department of Nursing, Japanese Red Cross Shizuoka Hospital

Abstract : Team medical care occurs when a wide variety of staff across disciplines and with high-level expertise in medical care share objectives and information, collaborate with and complement each other while sharing duties, and provide appropriate medical care according to the patient's situation. Successful promotion of team medical care is an important aspect in multidisciplinary collaboration in the medical field.

Information management in nursing department meetings is used in multidisciplinary collaboration and cooperation, and its aim is to improve teamwork and serve as a medium of effective information exchange.

Key words : team medical care, information management